

福祉 みやぎ

vol.625 | 2023 1 月号

CONTENTS (主な内容)

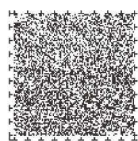
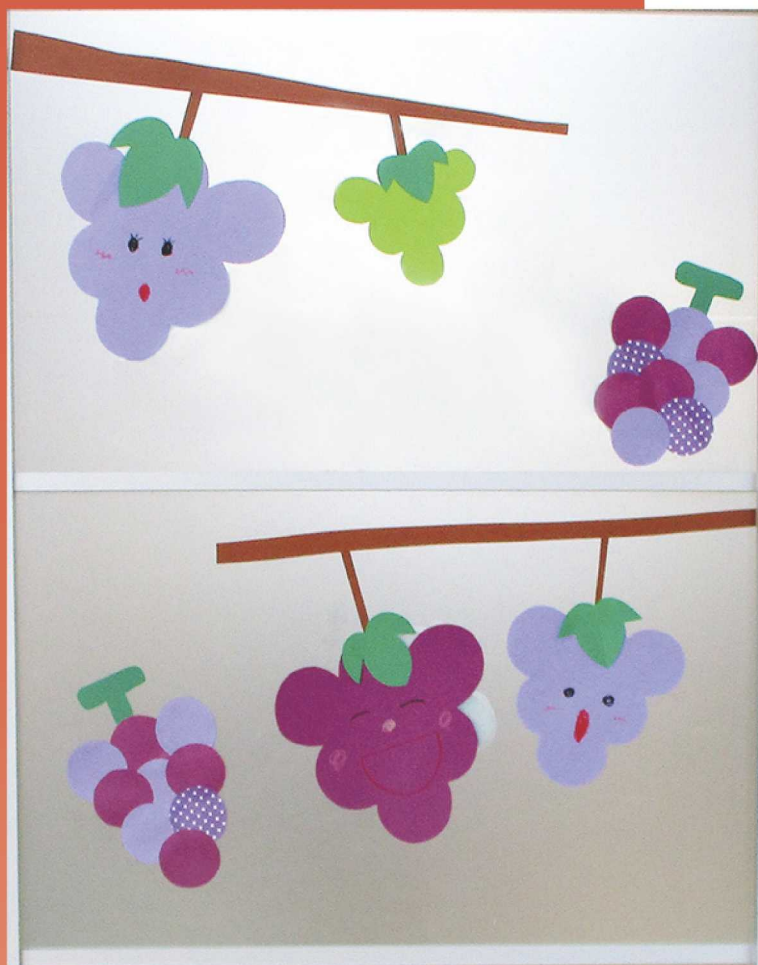
- P2 特集
地域共生社会の実現に向けて
～あかね保育所、福室希望園の実践事例紹介～
- P4 Heart&Works
第二期成年後見制度利用促進基本計画について
- P5 ひと・まち・ころろ きょうだい支援について
- P6 民生委員・児童委員の改選が行われました
- P7 グッジョブFUKUSHI 事業所インタビュー
- P8 ちいきをつなぐ
「株式会社 楽天野球団
東北楽天ゴールデンイーグルス」の取組
- P10 宮城いきいきシニアだより
シニア世代の健康と福祉の祭典
- P12 県社協掲示板

作 者

社会福祉法人 豊明会
放課後等デイサービスほたる利用者の皆さん

コメント

創作活動の時間に皆で協力してつくりました



特集

地域共生社会の実現に向けて

あかね保育所・福室希望園の実践事例紹介

地域との交流を重ねて



今回の特集では、2つの保育所等の地域共生社会の実現に向けた取組をご紹介します。

まずは、宮城県東部に位置する多賀城市のあかね保育所・中鉢義徳所長にお話を伺いました。
あかね保育所は、周りを田園に囲まれた閑静な地域にあります。

取り組んでいることを教えてください。

近隣の老人クラブとの交流に長年力を入れております。毎年春に市民農園を借り、老人クラブの方々と子どもたちとで種を蒔いて秋に収穫祭を行っています。正月には、老人クラブの方々

に昔遊びを教わりながら交流し、教える側も教えられる側も喜んでいきます。しかし、コロナ禍で一部が中止となりました。高齢者や子どもものことを考えると、慎重にならざるを得ないと感じています。

近隣の方々との交流が一番の「地域共生社会の実現に向けた取組」と思っています。老人クラブの高齢者も、施設に入所している高齢者も保育所の子どももみんなが喜びます。それが「共生」、共に生きることだと思います。子どもにも良い経験になり、その積み重ねで将来、子どもたちが「高齢者施設や保育所で働いてみよう」になつてくれれば良いと考えています。

自然と「福祉教育」になつてくるのでしょうか。

そうだと思います。子どもたちには「福祉への意識」を持ってもらいたいと考えています。

地域と交流を持つことで、地域の実情を把握できているという考えですね。

子どもが保育所に入れない親、子育てに困っている親、悩みを抱えたひとり親等、地域で困っている保護者は多いです。ここからは構想ですが、例えば、地域の人々や小・中学校を巻き込み、子育て世代以外の方が「近くに子どものことで悩んでいる人がいるみたいだ」と相談の受け皿となればと考えています。

また、地域と教育と家庭が一緒になつて、「地域の子ども」を育てていくことも目指したいです。昔は、地域の怖いおじさんによく叱られることがありましたが、子どもたちに地域の目が届いている証拠でもあると思います。そういった地域の人々が子どもを見てくれるようになってほしいです。

分野の垣根を超えるには

どうしたら良いと思いますか？

あかね保育所の職員には、地域共生社会の実現に向けた視点を持つてもらうために、介護福祉施設や障害福祉施設に行つて、他の職種を経験してもらいたいと思っています。保育士は保育のことだけを考えていてはダメだと考えているので、他職種を経験し、幅広い視野を持つていてほしいです。いずれ自分のためにもなると思うので、保

育ばかりではなく、いろんな経験や体験をしてほしいと職員へ常々伝えていきます。

宮城県地域共生社会推進会議に

期待することを聞かせてください。



▲あかね保育所・中鉢所長

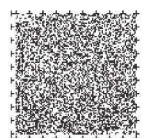


▲地元高齢者施設で交流を図っている子どもたち

あかね保育所 概要

- 設置主体・運営主体
社会福祉法人おひさまと月の里
- 所在地
宮城県多賀城市
- 開設年月日
平成23年4月1日
- 利用定員
100人

制度や分野ごとの縦割りや支える・支えられるという関係を超え、地域住民や多様性を他人事ではなく、我が事と思つて参画できること。立場的な観点から言う、特に子育てで悩んでいる保護者に対して、行政を巻き込んで地域や社会福祉法人がしっかりと対応できる社会が目標となれば良いと思います。



民生委員との連携で地域の
子育て・見守りを行っています。



福室希望園
は、平成10年
4月に子育て
支援センター
（※1）併設
保育園として
開設し、今年
で25年目を迎
えました。

今回、社会

福祉法人希望園 統括責任者の高野幸
子さんにお話を伺いました。

設立当時の状況について教えてください。

福室希望園の設立当時から、民生委員とのつながりには非常に深いものがありました。私自身、別の地区の保育園から異動し、当時は福室地区のことはさっぱり分かりませんでした。加えて、仙台市内で子育て支援センターを初めて開設しましたが、仙台市も初めてのことで何をしたらいいか分からない状況でした。まずは、地域の方々の声を聞き、子育て支援センターに何を求めているのかを知ることが一番と考えました。その時に民生委員の方々にたくさん助けていただきました。

当時から、民生委員の方々が子育て

サークルのようなもの開いていましたが、民生委員は、今も当時も70歳を超えた高齢の方々ばかりです。一方で、保護者は20代の若い方々。お互いに話が全然合わないようでした。そこで、民生委員が子育て支援センターを持つ我々の保育園の若い先生方に声掛けし、一緒に子育てサークルを行うようになりしました。それ以来、民生委員との深い連携が始まりました。

子育てサークルの他に行っている

ことを具体的に教えてください。

民生委員と一緒に福室希望園でサロンを開いています。また、敬老会に子どもたちが呼ばれ、歌ったり、お遊戯をしています。そこから、「敬老会だけでなく、日頃から交流したいですね」と言われ、4月の「花の日」のイベントでは子どもたちが民生委員と一緒に市営住宅に住んでいる一人暮らしの高齢者宅へお花を持ってまわりました。9月の敬老会では、高齢者が得意なお箸を使った豆堀み競争等を子どもたちと行いました。高齢者が勝つと、子どもたちは「おじいちゃん（おばあちゃん）、すごいねー」と言っって、目をキラキラさせています。そういう関わりが子どもたちには良い教育となつています。10月にある福室希望園の運動会では、高齢者をお招きし、子どもたちと

一緒にお昼ご飯を食べることにしていますが、コロナ禍でできることが限られてきています。

民生委員が地域の鍵を

握っているということですか。

民生委員の存在なしでは福室希望園はありませんでした。本当に助けていただきました。

民生委員との深い連携のおかげで、意識せずに「地域共生社会の実現」に取り組めていると感じています。また、地域に根差した取組をやらないといけない、と今でも思っています。

宮城県地域共生社会推進会議に

期待することを聞かせてください。

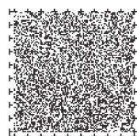
宮城県でこのようなプラットフォームがあれば、社会的に何をしなければならぬかを他の分野の方々も考えるようになって、「地域共生社会の実現」への意識が広まると思います。その前にもっとその存在を広めるべきなのではないでしょうか。このような素晴らしいプラットフォームがあることを知らない保育関係者・福祉関係者がまだ多いと思います。そうすれば、もっと仲間が増えると思います。

（県社協取材）

福室希望園 概要

- 設置主体・運営主体
社会福祉法人希望園
- 所在地
宮城県仙台市宮城野区
- 開設年月日
平成10年4月
- 利用定員
110人

※「子育て支援センター」とは
子育て家庭の交流の場の提供と交流
の促進や子育て等に関する相談、援
助の実施など、地域の子育て家庭が
「喜び」と「ゆとり」を持って子育て
ができることを目的とした場のこと
（仙台市ホームページ抜粋）



▲感謝祭に招かれた地域の高齢者と民生委員の方々



▲社会福祉法人希望園統括責任者の高野 幸子さん



第二期成年後見制度利用促進基本計画について

平成30年4月から厚生労働省は、成年後見制度利用促進室を設置し、成年後見制度利用促進基本計画等の施策を総合的かつ計画的に推進しています。

「第二期成年後見制度利用促進基本計画（令和4年3月25日閣議決定）」は、令和4年度から令和8年度までを対象期間とし、本年度から実施されています。

成年後見制度とは、認知症、知的障害、精神障害などにより、判断能力が十分でない方について、本人の権利を守る援助者（「成年後見人」等）を選ぶことで、本人を法的に支援する制度のことです。

「第二期成年後見制度利用促進基本計画」の概要

第二期成年後見制度利用促進基本計画の概要

第二期成年後見制度利用促進計画（以下、「第二期計画」という。）では、成年後見制度の利用促進のための基本的な考え方について、以下のとおりまとめられています。

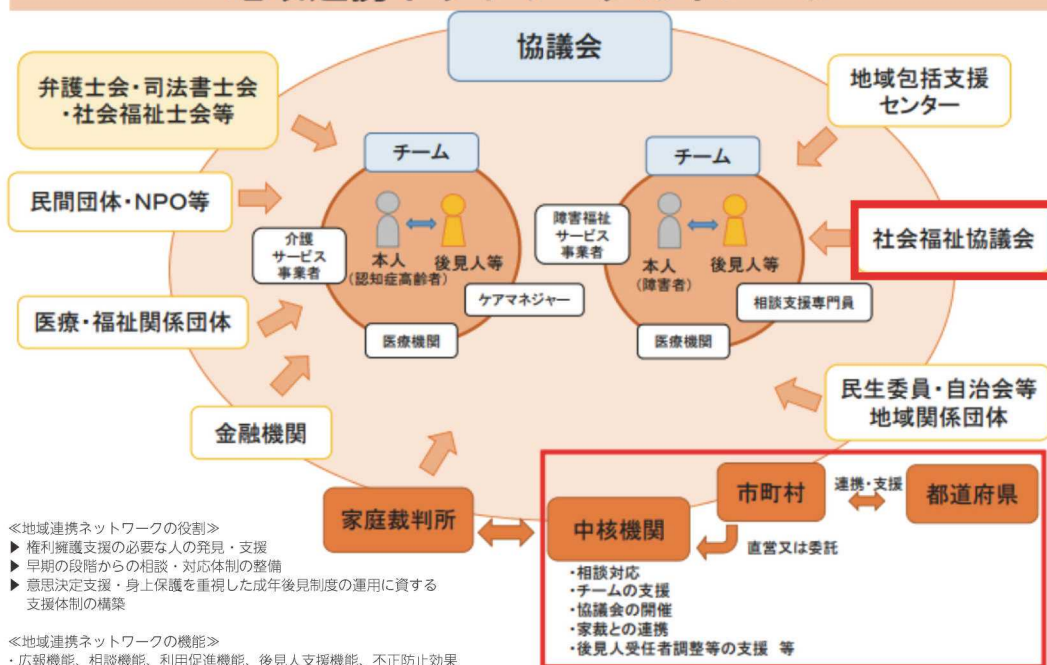
- ① 地域共生社会の実現に向けた権利擁護支援の推進
 - ② 尊厳のある本人らしい生活を継続できるようにするための成年後見制度の運用改善等
 - ③ 司法による権利擁護支援などを身近なものにするしくみづくり
- 特に①については、「地域共生社会の実現という目標に向け、本人を中心とした支援・活動における共通基盤となる考え方として『権利擁護支援』を位置付けた上で、地域連携ネットワークにおける権利擁護支援策の一層の充実などの成年後見制度利用促進の取組をさらに進めていくこととする」とされています。

成年後見制度と地域連携ネットワーク

第二期計画で推奨されている地域連携ネットワークとは、権利擁護支援の必要な人が成年後見制度を利用できるように、適切に必要な支援につなげる地域連携のしくみです。

地域連携ネットワークの構築については、社会福祉協議会が持っている地域の団体や機関、専門職等とのつながりや地域住民との関わりを活かすことを期待されています。（下図参照）。

地域連携ネットワークのイメージ



＜地域連携ネットワークの役割＞
▶ 権利擁護支援の必要な人の発見・支援
▶ 早期の段階からの相談・対応体制の整備
▶ 意思決定支援・身上保護を重視した成年後見制度の運用に資する支援体制の構築

＜地域連携ネットワークの機能＞
・広報機能、相談機能、利用促進機能、後見人支援機能、不正防止効果

※チーム：本人に身近な親族、福祉・医療・地域等の関係者と後見人がチームとなって日常的に本人を見守り、本人の意思や状況を継続的に把握し必要に対応を行う体制

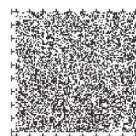
▲厚生労働省「成年後見制度利用促進基本計画のポイント」より抜粋

本会では、「権利擁護セミナー」を開催するなど、地域住民がお互いに支え合えるような地域を目指し、自治体、社会福祉協議会、専門職団体、民間団体等の協働による地域連携ネットワークを通して、地域共生社会の実現に取

り組んでいきます。そして、この制度が広く認知支援され、支援の輪が広まることを期待しています。

参考文献

- 「第二期成年後見制度利用促進基本計画」～尊厳のある本人らしい生活の継続と地域社会への参加を図る権利擁護支援の推進～
- 厚生労働省ホームページ「成年後見はやわかり」
- 厚生労働省資料「成年後見制度の利用促進に当たっての基本的な考え方等について」



きょうだい支援を「存じですか？」

地域共生社会の実現に向けて、様々な支援の輪が広がっていますが、「きょうだい」というワードを聞いたことはありますか？

障害等を持つ人の「きょうだい」をこのように表すことがあります。

障害者支援の必要性は想像に難くないですが、障害者のきょうだいも支援を必要としていることはあまり知られていないのではないのでしょうか。

全ての家庭ではありませんが、障害を持つ兄弟、姉妹がいることでヤングケアラーとなっていることや、きょうだいへのケアが行きづらい等も聞かれています。

今回は、宮城県内でも数少ない「きょうだい支援」を行っている「認定特定非営利活動法人 アフタースクールぱるけ」の代表理事 谷津尚美さんに「きょうだい支援」について伺いました。

きょうだい支援「あみーごクラブ」を始めたきっかけ

アフタースクールぱるけでは、障害を持つ児童の放課後等デイサービスを行っています。利用児童の家族から、きょうだいの話を聞くうちに、きょうだいにも支援が必要だと感じるようになり、何かできることはないかと「あみーごクラブ」を立ち上げました。

最初は、どのような支援をしたらいいのかと試行錯誤していましたが、シブシヨップ※（米国きょうだい支援プロジェクト）

トが開発した支援プログラムの研修を受け、現在はそのプログラムに沿って支援をしています。



▲過去に開催したきょうだいのためのワークショップ「シブシヨップ」開発者ドナルド・マイヤー氏の講演会

きょうだい支援がなぜ必要なのか

障害児保護者から「小さい頃からきょうだいには我慢させていた、ずっと寂しい思いをさせていた」という声や、きょうだい本人から「何でも世話をしてもらえ兄弟・姉妹が羨ましい、もっと自分を気にかけてほしい」等の声が聞かれることがあります。中でも、「自分が我慢すればいい」と困りごとや悩みごとを飲み込んでしまうケースは少なくありません。子どもの頃からきょうだい支援に触れることで、悩んだ時に頼れる場所があるのは、選択肢の一つとして必要なことだと感じています。

あみーごクラブの存在意義

きょうだいの子どもたちが、家庭、兄弟や姉妹、自分のこと等、悩みを抱えたりした時に一人じゃないと思える居場所になればいいなと考えています。

障害を持つ兄弟、姉妹がいるきょうだい同士だからこそ共感できることがたくさんあり、仲間が身近にすることが心強く感じられるのではないかと思います。



▲きょうだい支援での活動の様子

きょうだい支援で願うこと

きょうだいたちもひとりの人間としての生活があります。「○○さんのきょうだい」ではなく、同じ尊厳を持つ人間でかけてもらえるように「きょうだい」という言葉や、支援が必要だと広く知ってほしいと感じています。

（県社協取材）

宮城県内の福祉施設・介護事業者向けの総合補償制度

宮城県地域福祉総合補償制度をご利用下さい

ポイント1

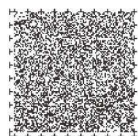
社会福祉協議会の会員である社会福祉施設、介護サービス事業者が加入できます。

ポイント2

地元宮城県で加入手続き・事故対応・その他アフターフォローを行いますので安心です。

ポイント3

団体制度のため、有利な団体割りが適用されます。（一部適用外）



お問合せ

社会福祉法人宮城県社会福祉協議会
三井住友海上火災保険株式会社
株式会社オンワード・マエノ

TEL022-225-8476
TEL022-221-3171
TEL022-762-9915



オンワード・マエノのサイトにリンクします。

※この制度の各補償は宮城県社会福祉協議会が保険会社と締結した保険約款により行います。

民生委員・児童委員の

改選が行われました。

令和4年12月、全国一斉に民生委員の改選が行われました。宮城県（仙台市を含まない。）では新たに約800人の方が民生委員・児童委員（以下「民生委員」という。）として就任し、これから3年の任期の間、ひとり暮らしのお年寄りや生活に困っている人などの世帯状況を把握するほか、地域住民の様々な相談に応じたり、見守り・声掛けや福祉サービスを利用するためのお手伝いなどに取り組むこととなります。

また、民生委員は担当地区を持って活動しますが、それぞれの地域において民生委員児童委員協議会（以下「民児協」という。）に所属しています。宮城県には約3000人の仲間があり、市町村行政を始め社会福祉協議会などとも協力して活動を行います。

そこで、新たに就任された民生委員の方々にエールを送り、その活動が充実したものとなるように、先輩民生委員である女川町民生委員児童委員協議会会長の土井賢亮さんにお話を伺いました。

民生委員の先輩から



▲取材に応じてくれた土井賢亮さん

県社協 土井さんは、民生委員を7期（21年）お勤めされていると伺いました。民生委員活動をしてみての感想や、やりがいを教えてください。

土井 私は、平成13年の12月に民生委員の委嘱を受けました。その直後に生活保護に関する相談がありました。本人の想いに寄り添い、黒子役として相談に乗るのは色々と大変でしたが、最後に相談者から「ありがとう」と声をかけてもらい、これからも続けようと思

う心の糧となりました。

県社協 民生委員活動の醍醐味は1期だけではわからないので、是非、3期（9年）は続けて欲しいと伺いました。民生委員活動で大切にされていることを教えてください。

土井 民生委員は、様々な相談を受け止めます。守秘義務があるので、関係者以外に相談することできませんが、これを民生委員一人が抱えこむのではなく、子どものことであれば学校や役場につながる、高齢者のことであれば地域包括支援センターや関係機関につなぎます。判断に迷ったら民児協の役員や先輩民生委員に相談するということを心掛けています。

また、女川町では毎月開催される定例会に小中学校の校長が参加し、子どもたちの様子を伝えてくれますが、このほかに月に1回小・中学校の先生方と一緒に登下校時の児童・生徒の見守り活動を行い、子どもたちの様子の変化にも気が配れるようにしています。

新任民生委員に向けては、書類の引継ぎだけではなく、前任者と一緒に担当地区を回り、地域の方にも顔を知ってもらえるよう配慮していま

す。このことで地域の

実情を知ること



できます。また、12月の一斉改選後には東北文化学園大学教

授の豊田正利さんに民生委員活動の基本についての初任者研修を女川町民児協主催で実施しています。

最後に私の体験からお伝えしたいことがあります。11年前に東日本大震災がありました。この時、民児協の組織力の強さに助けられ、また先輩民生委員の言葉に大きな勇気をいただきました。この時の体験が、これからも民生委員として共に事例を通して学び合い、研鑽を積んでいこうと思った原動力になっています。

新任の民生委員・主任児童委員の皆さん、地域住民の身近な相談相手として民児協の仲間と共に歩んでいきましょう。

県社協 取材では民生委員活動の意義は、住民が住み慣れた場所です。安心して長く暮らすことを支えていくこと、と伺いました。宮城県社協では、これからも民生委員の皆様が仲間と共に頑張っていけるよう応援してまいります。

（県社協取材）

社会福祉法人豊明会 放課後等デイサービスほたる

〒987-2177 栗原市高清水新桂葉278-2
TEL 0228-58-3911



グッジョブ

FUKUSHI

このコーナーでは福祉の仕事に関すること
団体などについて紹介します！

今回は、社会福祉法人豊明会 放課後等デイサービスほたるの施設長・齊藤さんに、放課後等デイサービス事業所の仕事内容や一日の流れ、仕事のやりがいについてお話を伺いました。

Q.仕事内容と一日の流れについて教えてください。

子どもの放課後の居場所づくり、発達過程や障害の特性、適応行動などの状況に応じた支援を行います。日毎で体調や気分の差があるため、無理に活動を勧めずに見守りを行い、その行動が表す背景をご家族と共有し、その後の支援に活かしています。施設内でイベントや行事を行う時には、企画立案、準備、当日の実施の役割を児童が担っています。できることを増やせるよう訓練する意味合いを持っています。

開所日は、お盆と年末年始を除く平日(祝日含む)、土曜日となっています。平日は、学校まで車で迎えに行き、支援後は自宅まで送り届けています。学校が休みになる祝日や土曜日は9時から17時まで開所していますが、お弁当の持参とご家族による送迎をお願いしています。

Q.どのような時に仕事のやりがいを感じますか。

当事業所の特色として身体・知的障がいを抱えている児童がおり、半数が車椅子やバギーを使用しています。その中で人との関わりをどうすべきか、将来どのような療育が必要かをご家族と情報共有を図りながら支援することで、お子さんの成長を共に喜びあえることが仕事のやりがいに繋がっています。個々の成長スピードは様々ですが、できることを伸ばすことで他害行為や問題行動の減少にも繋がっています。将来に向けて児童、ご家族、職員と一緒に一歩ずつ進んでいきたいと思います。

Q.今後の展望について教えてください。

子どもが成人し、その後高齢者となっても一括して支援が行える特色を持つ法人でもあるので、成人後も自立に向けて必要な支援を受けることが可能です。しかし、就労継続支援B型の工賃では自立して生活するまでは難しい現状です。親亡き後の生活基盤となる地域で見守る体制を整え、収入として就労継続支援A型にも携わることができるよう模索しているところです。

また、法人内の他の3事業所で合同行事(芋煮会、クリスマス会宿泊体験等)を行い、他事業所との関わりや楽しさが増えるよう計画、実施しております。隣接する高齢者施設に伺い、様々な年代の方々と触れ合う機会を持つことで、温もりのある生活に繋がるよう支援を続けていきたいと思います。



▲事業所の外観



▲事業所内の様子



▲活動の写真

令和4年度「福祉のしごとフェア」実施報告

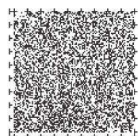
11月にハローワーク仙台、宮城労働局との共同主催で「福祉のしごとフェア」を開催しました。

11月22日はハローワーク仙台を会場に「介護職セミナー」を行い、34名の方にご参加いただきました。無資格・未経験の方が中心で、介護職の仕事内容や魅力・やりがいについてお話をさせていただきました。

11月29日・30日には仙台市中小企業活性化センターの多目的ホールを会場に「企業との面談会」を実施しました。2日間で、求職者91名と103の福祉関連事業所の皆様にご参加いただきました。今後の就職活動と福祉人材確保の一助となっただけであれば幸いです。



▲「企業との面談会」の様子



Twitter
フォローしてね
@miyagijinzai

福祉のお仕事



検索 <https://www.fukushi-work.jp/>

宮城県福祉人材センター

TEL : 022-262-9777
貸付専用TEL : 022-399-8844
HP <https://fukushi-miyagi-sfk.net/job/>

『株式会社楽天野球団 東北楽天ゴールデンイーグルス』の取組 ～東北唯一のプロ野球チーム スポーツの力で東北の底上げを目指して～

東北楽天ゴールデンイーグルス（以下、楽天イーグルス）では、数多くの地域貢献活動を企画し取り組んでいます。今回は本会で仲介をしている「ドリームシート」を中心に楽天イーグルスの「東北への思い」について、株式会社楽天野球団 BtoB営業本部営業企画部長の亀谷直幸さんからお話を伺いました。

ドリームシートについて



© Rakuten Eagles

ドリームシートとは、楽天イーグルスが取り組んでいる地域貢献活動の一つで、「多くの人に生で野球を見ていただくたい、スポーツを通じた感動を体験してほしい。」という思いから、宮城県内のスポーツ少年団や福祉団体の方々を楽天イーグルスの試合に招待する活動です。この活動の特徴は、球団の思いに賛同していただける企業や選手と一緒に実施していることです。

現在、この活動に賛同していただいている企業は24社あり、松井裕樹選手・浅村栄斗選手・岸孝之選手・則本昂大選手の4選手もドリームシート招待企画に取り組んでいます。今後も地域の中で積極的に取組を広げていき、同じ思いを持ったたくさんの方々と一緒に活動していきたいと考えています。

ドリームシートに対する思い

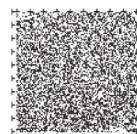
亀谷さんは、招待者からの声やこの活動への思いを次のように語ります。「招待したお子さんからは、『楽しかった』『あのプレーがすごかった』など素直な気持ちをたくさんいただいています。今はコロナ禍で様々な制限がありますが、テレビではなかなか感じることができない、バットがボールに当たる瞬間の音や、1つ1つのプレーに対する歓声や熱量を体験できることが大きな魅力の一つだと思っています。さらにボールパークに来ていただくということは、野球を見て楽しむということだけではなく、1日を通して、飲食や応援グッズ、スマイルグリコパーク（観覧車やメリーゴーランドなどの施設がある球場内の公園）等を含めた様々なエンターテインメント空間を楽しむということだとも思っており、今後もこうした魅力ある場所づくりを考えていきたいです。」

楽天イーグルスだけでなく、地域の企業にもパートナーとして一緒に参画をいただくことで、東北の地域力の底上げにも貢献できる活動になると考え、取り組まれているそうです。

楽天イーグルスとしての地域貢献活動



▲プロ野球選手のプレーを見て応援に熱が入る子どもたち





▲楽天イーグルスのユニフォームで応援する様子

様々な情報を発信したり、積極的に東北6県に出向き野球教室を開催したりするほか、実際に夢を叶えた元プロ野球選手が、小学校を訪問し夢を叶える大切さを伝えるイベントを通して、子どもたちの夢の実現をお手伝いしています。

その他にも、東北には「楽天イーグルス」というプロ野球チームがあることを知ってもらいたいという思いで、平成26年から東北6県の子どもたちが小学校に入学する際のお祝いとして、楽天イーグルスのキャップをプレゼントする活動も行っており、現在1年生から6年生の児童は全員が持っていることです。

東北でどのような存在を目指していきたいか

「チーム名に『東北』を入れていることは、東北のシンボルとして活躍していきたいという思いが込められています。東北の魅力を伝える活動や、もともと宮城県以外の方にも来てもらえるような取組を考え、東北の強力な発信源として楽天イーグルスが地域を引っ張り、皆さんと一緒に東北の底上げをしていきたい。」と語ってくれました。

また、スタジアムに来てもらうだけではなく、楽天イーグルスが地域に出向くことも大切だと考えているそうです。球場がある宮城県以外でも様々な形で、楽天イーグルスと関われる機会や活動に積極的に取り組み、1軍2軍を含めて東北6県全てで野球が見られる環境づくりを目指しています。

「スポーツの力で東北に勇気を与え、見ている人にスポーツの素晴らしさ、感動を体感していただけるよう努力していきたいです。」と熱い思いを語る亀谷さんは、「楽

天イーグルスが日本一になることが何よりも東北に勇気と感動を与えることになります。私を含め2013年の優勝は、東北の皆さんにとってもこみあげるものがあつたと思います。」とチームとしての目標も話されました。

今後の活動展望

「一番は、スタジアムに来た時に楽しいと思っていただけ環境づくりが大切だと考えています。これは、ドリームシートに限らず、来場したお客様全員に対してたくさん感動をスタジアムで体験していただきたいという思いがあるからです。試合の勝敗に関わらず、楽しかった、また行きたいな、と思えるボールパークを目指していきたいです。」と今後の意気込みを伺いました。ドリームシート招待企画を球団が単独で行うのではなく、地域の企業と一緒にこの意義を常に意識しながら、これからも東北という地域に貢献できるよう取り組んでいくそうです。

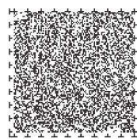
今回お話を伺って、改めて東北

に楽天イーグルスがあるからこそ体感できることが多くあることに気付かされました。様々な形で地域に貢献していきたいという楽天イーグルスの熱い思いを、本会ではドリームシートの仲介を通して多くの方に伝えられるよう、これからも活動を応援していきます。

(県社協取材)



▲球場の雰囲気全てを楽しむ子供たち





シニア世代の健康と福祉の祭典

第34回全国健康福祉祭神奈川・横浜・川崎・相模原大会 『ねんりんピックかながわ 2022』大会レポート

「神奈川に 咲かせ長寿の いい笑顔 ～未病改善でスマイル100歳～」をテーマに、スポーツ・文化・健康・福祉の総合的な祭典「第34回全国健康福祉祭神奈川・横浜・川崎・相模原大会」（愛称：ねんりんピックかながわ 2022）が、令和4年11月12日から15日までの4日間にわたり、神奈川県17市9町を舞台に開催されました。

全国から一万人近い選手が集まり、延べ約61万人が参加しました。宮城県からは24種目に25チームの計170名の選手を派遣しました。

新型コロナウイルスの影響でわかやま大会以来3年ぶりの開催となりましたが、世代や地域を超えて交流の絆を広げた大会の様子を紹介します。



▲宮城県選手団の入場

いざ神奈川へ

宮城県選手団は総勢177名（役員7名含む）。総合開会式及びスポーツ交流大会や文化交流大会など24種目の競技に参加するため、11月11日に仙台駅から神奈川県に向け出発しました。大人数での移動となりましたが、大きな混乱もなく予定どおり新横浜駅に到着すると、地元ボランティアの方々温かい歓迎を受けました。駅や街中の至るところで、横断幕やポスター、のぼり等が掲げられており、いよいよ始まる大会に気持ちが高まりました。



▲横浜アリーナでの開会式の様子

宮城県チームの活躍

翌日の総合開会式は横浜アリーナで開催されました。これまでの開催方式とは異なり、都市型で屋内での開催となったことから、全選手での入場行進は行わず、各選手団から旗手を含め代表5名のみが入場行進を行いました。式典では彬子女王殿下のご臨席とおことばを賜り、アトラクションでは、地元出身の豪華なタレントが多数登場し、会場を大いに盛り上げていました。

宮城県チームは複数の種目において上位入賞を果たしています。その一部をご紹介します。

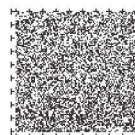
初開催となったサーフィン（ショートボードの部）では高橋誠さんが優勝、サッカーがブロック優勝、そして卓球が第1位グループで第3位、ターゲット・バードゴルフ男子シニアの部で江刺義夫さんが準優勝、水泳女子50m自由形で加藤希美子さんとグラウンド・ゴルフの及川忠吉さん、健康マージャンの岩井辰郎さんが第3位となりました。



▲ターゲット・バードゴルフで準優勝した江刺義夫さんのプレー



▲サーフィンで優勝した高橋誠さん



そのほか、ソフトテニス、ゲートボールのチーム多賀の郷、なぎなたチーム、将棋チームが優秀賞を受賞しています。



その他の種目の選手たちも、惜しくも入賞は逃しましたが、全国の猛者を相手にいきいきとしたプレーを見せ、仲間たちとの交流を楽しんでいました。



また、個人種目においても、ゴルフやなぎなた、ターゲット・バードゴルフ、健康マージャンで優秀賞を受賞しました。



なお、神奈川県民ホールで開かれた美術展では、日本画部門で大槻勝美さんが長寿社会開発センター理事長賞、工芸部門で阿部繁夫さんが横浜市長賞、書の部門で北野澤大雲さんが銅賞を受賞されました。誠におめでたいですね。



大会終了後には、思い思いに觀光を楽しんだりしながら無事、帰途に着きました。

選手たちは、3年ぶりのねんりんピックを思い切り満喫した様子で、有意義な時間を過ごされたようです。

ねんりんピック愛顔（えがお）の
えひめ2023！

来年で35回目を迎えるねんりんピックは、愛媛県を舞台に10月28日（土）から4日間にわたり開催されます。「ねんりんを重ねた愛顔 伊予に咲く」をテーマに、バラエティに富んだ29種目を開催します。

来年のえひめ大会でも、宮城県選手の素敵な笑顔にお会いできることを楽しみにしていますー



第35回全国健康福祉祭えひめ大会
ねんりんピック
愛顔のえひめ2023
ねんりんを 重ねた愛顔 伊予に咲く
(令和5年10月28日(土)～31日(火))



宮城いきいき学園
令和5年度入学生を募集します

宮城いきいき学園では、生きがいと健康づくりを推進するとともに、地域社会の発展に寄与できる高齢者のリーダーとなる人材の育成及び地域貢献活動への参加を目的として必要な知識を身につける学びの場を提供しています。

- 対象Ⅱ県内居住の60歳以上の方
- 場所Ⅰ①仙南校②大崎校③石巻校
- ④気仙沼・本吉校⑤登米・栗原校
- 募集人数Ⅱ各校30人程度
- 学習Ⅱ年間21日（2学年制）
- 募集期間Ⅱ令和4年12月1日（木）
～令和5年3月31日（金）
- 入学金Ⅱ5,000円
- 受講料Ⅱ年間20,000円
- 詳しくは宮城いきいき学園まで
電話022（225）8477

Information 県社協掲示板

温かい真心をありがとうございます

本会に寄附金をいただきました。温かい真心に感謝申し上げます。

<寄附金>

令和4年10月25日 アフラック宮城県アソシエイツ会さまより
歩行器購入費用のために…………… 172,750円

第68回 宮城県社会福祉大会を開催しました

令和4年11月9日に仙台サンプラザホテルにて第68回宮城県社会福祉大会を開催しました。

本大会は、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らしていけるよう地域福祉の推進に地域住民・社会福祉関係者・行政の三者が一丸となって取り組むことの重要性を再認識するとともに、永年にわたり本県の社会福祉の発展に御尽力いただいた方々を表彰し感謝の意を表することを目的としています。今回は昨年と同様、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、規模を縮小して開催いたしました。



宮城県社協のホームページはこちら
URL:<https://www.miyagi-sfk.net/>



International Care worker Program
2022年度 開始 仙台育英学園高等学校
外国人介護士
育成プログラム

詳細はこちらをご覧ください

学校法人 **仙台育英学園**
〒983-0045 仙台市宮城野区宮城野二丁目 4-1
Tel. 022-256-4141 (代表) / FAX. 022-299-2408

介護事業所BCP策定義務化！(令和6年3月締切)

災害発生 感染症発生

1. 災害対策補助金 非常用発電設備 & 受水槽設備 & 止水板等
・29床以下・・・773万～1540万まで10/10補助 ・30床以上・・・上限無し 3/4補助

2. 感染症対策補助金 高機能換気設備+高効率空調設備
工事費を含む 2/3補助

◎災害発生時や感染症発生時に事業継続を本当に可能とするためのBCP策定を当協会では**無料**でお手伝いさせて頂いております。

◎当協会では策定したBCPが計画倒れにならぬように、調査から分析を行い、事業継続に必要な不可欠な設備等を補助金で採択する支援を目指しております。



一般社団法人

東北再生可能エネルギー協会

<http://tohoku-r-energy.co.jp>

〔本部〕宮城県仙台市青葉区花京院1丁目4-25シティタワー仙台703 TEL 022-794-7040

〔支部〕青森支部(弘前市)・岩手支部(北上市)・福島支部(福島市)・栃木支部(宇都宮市)

※本掲載記事は令和4年12月20日現在の情報にて変更の可能性もありますが、次交付金の短期間公募の対策用掲載記事であります。【協会ホームページ】



この印刷物は、植物性油インキを使用し、
環境にやさしい水なし印刷方式を採用しています。



「福祉みやぎ」は宮城県社協のホームページでもご覧になれます。
また、ご意見、ご感想、とりあげて欲しいテーマなどをお寄せください。表紙の作品も募集しています。

